



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

会長:中曾真二郎 幹事:山田さち子 会報委員長:坂本武司

事務局 E-Mail: rotary@wakayama-serc.org http://wakayama-serc.org/

例会日 水曜日 例会場:ルメール華月殿 第1, 第2, 18:30~(夜) 第3, 第4, 第5, 12:30~(昼)

本日の例会

11月19日(金)

18:30~

『和歌山中 RC との合同例会』ダイワロイネットホテル和歌山 4F ブリエ
 ・開会点鐘 ホストクラブ 中 RC 山下会長 ・物故会員黙祷 ・ロータリーソング 奉仕の理想
 「中 RC ・東南 RC 例会」・出席報告 ・ニコニコ箱(寄付金)報告 ・委員会報告
 ・会長挨拶 ・幹事報告 ・委員会報告 ・閉会点鐘 ホストクラブ 中 RC 山下会長
 「懇親会 中 RC 親睦委員会」 ・乾杯挨拶 中 RC 宮本会長エレクト ・ミニ卓話「新型コロナ
 コロナ感染症について、是非知っていただきたいこと」 林パスト会長 ・合同親睦
 ゴルフ表彰式 ・閉会挨拶 ホストクラブ 中 RC 大平幹事

先週例会報告 会場監督 松田敏明

ゲスト:第 2640 地区 ロータリー財団委員長 中野 均様

《 会長挨拶 》 中曾真二郎会長

皆さんこんばんは。

本日は、第 2640 地区財団委員長、パストガバナーの中野均様ようこそお越しくださいました。後程、卓話よろしくお願ひいたします。

本日は 11 月度第一例会ですので、クラブ細則第 3 条第 1 節 4 項の規定に基づき、次年度役員・理事の候補者の氏名および役職を発表いたします。

[役員] 会長:寺下能明会員、会長エレクト:塩崎和仁会員、副会長:土屋一博会員、

幹事:小林一三会員、会計:平 平治会員、会場監督:神谷尚孝会員、

直前会長:中曾真二郎会員、[理事] クラブ奉仕委員長:鯉坂恒夫会員、

職業奉仕委員長:中岡隆文会員、社会奉仕委員長:林 隆一会員、国際奉仕委員長:坂本武司会員、

青少年奉仕委員長:谷口 拓会員 以上です。決定は総会(12 月度第一例会)において行います。

また、クラブ定款第 7 条第 2 節の規定により、同総会では、現年度の収入と支出を含む中間報告および前年度の財務報告を発表することになっておりますが、前年度の財務報告は、先日お配りしました 2020-2021 年度活動報告書に掲載しておりますので、お目通しをお願いいたします。



《 幹事報告 》 山田さち子幹事

① 和歌山北 RC 寺本会員のご母堂が逝去されました。クラブより弔電をお送りいたしました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

② 3 件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いてあります。

ご一読頂き、御入用の方はお持ち帰り下さい。

・2021-2022 年度 月信 11 月号

・当クラブが支援していますラオ・フレンズ小児病院支援プロジェクト(ラオス)のフレンズ・ウイズアウト・ア・ボーダー JAPAN より 2020 年「年次報告書」が届きました。



本日の出席報告

会員総数	35 名	出席者	出席率	寄付金	ニコニコ	米山記念 奨学会	ロータリー -財団	東南 育英会	50周年 記念 BOX	
出席免除会員	3 名	11/10	25 名	78.13 %	累計	646,831	164,000	198,000	12,000	0

《 幹事報告 》 山田さち子 幹事

・ 那智勝浦 RC より、後会長が書籍「熊野 謎解きめぐり」を出版いたしました。とのチラシが届いております。

③ ロータリーレート 11月は1\$=114円です。

④ 第4回 RLI (ロータリーリーダーシップ研究会) ディスカッションリーダー研修会のご案内
日時:11月13日(土)10:00~16:00 オンライン(ZOOM)
林会員ご出席、よろしく願いいたします。

⑤ 来週の例会は11月19日(金)和歌山中RCとの親睦合同例会に変更となっております。懇親会では「ミニ卓話(約10分間)」林正パスト会長にお話いただきます。時間は18:30~、場所はダイワロイネットホテル和歌山4Fです。皆様、お間違えのないよう宜しくお願い致します。

⑥ 本日例会終了後、定例理事会を開催致します。役員・理事の皆様、宜しくお願い致します。

《 ニコニコ箱 》 赤在依美 会計

第2640地区 ロータリー財団委員長 中野 均様：

卓話御礼は貴クラブの奉仕活動にお役立てください。

中曾君：第2640地区財団委員長 中野 均様 ようこそお越しくださいました。

本日 卓話どうぞ宜しくお願い致します。

赤在君：奥村さん 先日はありがとうございました。

本人お誕生日お祝い：辻本君、楠見君。

配偶者お誕生日お祝い：青木君、奥村君。

結婚記念日お祝い：青木君、鯨君。



《 ロータリー財団 》

中曾君：主旨に賛同して。

山田君：ロータリー財団委員長 中野様、本日よろしくお願い致します。

神谷君：中野委員長様 今夜の卓話ありがとうございました。

山本君：委員長 ご苦労さんです。

《 米山記念奨学会 》

土屋君：中野 均財団委員長様、本日はよろしくお願い致します。

《 東南育英会 》

赤在君：第36回国民文化祭わかやま2021で開会式障害者の音声ガイド担当させていただきました。





♪ 11月 本人・配偶者お誕生日お祝い ♪



♪おめでとうございます。♪



クラブフォーラム ロータリー財団委員会 卓話「ロータリー財団寄付金と補助金について」 第2640地区ロータリー財団委員長 中野 均様



ロータリー財団の使命

「ロータリアンが、健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界平和、親善、平和を達成できるようにすること」です。

ロータリー財団の標語

「世界でよいことをしよう」です。ロータリー財団の設立は、1917年にアーチ・クランプがビジョンを示し設立されました。ビジョンとは、「諸々の社会奉仕を今まで通りに実行していくには、慈善・教育・そのほかの社会奉仕の分野に

おいて世界でよいことをするための基金を作るのが、極めて適切であると思われる」ことです。

この時、初めてミズーリー州カンザスシティ RC より26.5ドルの寄付があり、少しずつ寄付が増え1928年に「ロータリー財団」として認定を受け現在に至っています。

今期ロータリー財団の寄付目標

- ・年次基金寄付 一人180ドル
- ・ポリオ寄付 一人30ドル

その他、寄付分類の説明をし、会員に寄付のお願いをし、続いて、個人認証の種類を説明しました。

寄付金と補助金の流れを説明し、次年度以降も補助金事業の申請をお願いし、2021-22年度実行予定の地区内クラブより申請のあった補助金申請の事業内容を参考のため紹介しました。紙面の都合で、申請内容明記は、割愛させて頂きました。

和歌山東南ロータリークラブ様の補助金事業申請は、和歌山城公衆トイレ洋式化についてであり、和歌山城を訪れる観光客などに喜ばれる事業です。毎年、地域で喜ばれる事業を継続されており敬服致します。来年2月か3月開催予定の「財団補助金セミナー」にご参加くださいますよう方宜しくお願い申し上げます。



10月24日にオンラインで行われた [2021年世界ポリオデー特別プログラム](#) では、ロータリーの目標である「ポリオをなくす」ことが手の届くところまで来ていると、世界保健分野の専門家が述べました。「Delivering on our promise of a polio-free world」(ポリオのない世界という約束を果たす)と題された30分間のプログラムでは、ポリオ根絶活動の進捗状況と今後の課題についての情報が提供されました。2021年の現在までに報告された野生型ポリオの発症例は世界全体で2件のみで、ポリオ常在国であるアフガニスタンとパキスタンでそれぞれ1件の感染が報告されています。これは今までで最も少ない数です。[質疑応答](#)では、世界保健機関(WHO)東地中海地域担当ディレクターのハミド・ジャファリ博士が、成果を裏付ける要因を挙げました。それらは、新型コロナウイルスによる中断期を経て、ポリオの大規模な予防接種キャンペーンが再開されたこと、過去に発生した野生型ポリオによる自然免疫、新型コロナウイルスによる旅行や人口移動の制限などです。2つの常在国で同時にこのような減少が見られるのは前例のないことだと、ジャファリ氏は述べています。ジャファリ氏は、発症数の減少は医療従事者にとって好機であるとしながらも、夏はポリオウイルスに感染する確率が高い季節であり、ポリオが再燃する可能性があるかと警告しています。ジャファリ氏は、[質疑応答の司会](#)を担った「TIME」誌編集長、ジェフリー・クルーガー氏に対し、だからこそ今、この機会を有効に活用すべきだと強調しました。また、ジャファリ氏は、アフガニスタンにおける政治的変化や治安の問題についても言及し、アフガニスタンのポリオプログラムは、不確実性の中で活動を適応させることに慣れていると説明しました。「現在は、大規模な予防接種キャンペーンを実施するために、アフガニスタンのすべての地域にアクセスできるような機会も訪れている」と述べました。WHOとUNICEF(国連児童基金)の発表によると、アフガニスタンでは11月初旬に全国的な戸別訪問によるポリオワクチン接種が再開される予定です。これにより、過去3年間ワクチン接種が禁止されていた地域の子供たちにも接種が可能になります。アフガニスタンの状況が変化中、パートナー団体がポリオ根絶プログラムの中立性と公平さを維持することが最も重要だとジャファリ氏は話します。「いつものように、私たちはすべての関係者と協力していきます」アフガニスタンのポリオプラス委員長であるモハメド・イシャク・ニアズマンド氏は、パキスタンのポリオプラス委員長であるアジズ・メモン氏との[ビデオ演説](#)で、ジャファリ氏の言葉を繰り返しました。ニアズマンドさんは次のように話します。「アフガニスタンでは、変化の中にあっても、ポリオ根絶が最優先事項であることを確認するため、ロータリーとパートナー団体があらゆる関係者と協力しています。子供達が命を救うポリオワクチンやその他の小児向けワクチンを確実に入手できるよう、作業が進められています」ロータリー財団管理委員でもあるメモン氏は、ロータリーは政府、地域社会、宗教のリーダーとの信頼関係を築いていると話します。「ポリオ予防接種と並行して幅広い医療サービスを子供や家族に提供することで、より良い医療を実現し、ワクチンの受け入れ態勢を整えることができる」と語ります。

未来への戦略 今年、[世界ポリオ根絶推進活動\(GPEI\)](#)は、循環型ワクチン由来ポリオウイルスへの対処を含め、すべてのポリオウイルスを根絶するための5年間(2022-2026年)の新戦略を発表しました。ロータリーとGPEIのパートナー団体は、ポリオ根絶に向けて残された障壁を特定し、目標達成のためのアプローチを策定しました。この計画は、革新的な方法やツールを用いながら、実施とアカウンタビリティに重点を置くことで、ポリオのない世界を達成、維持することを目的としています。

「2つの国で同時にこのような減少が見られるのは、本当に前例のないこと」 ハミド・ジャファリ博士

強調すべきは、ポリオ発生時における対応時間の短縮、ワクチン需要の拡大、医療やワクチンへのアクセス向上政府による予防接種プログラム管理への移行、意思決定とアカウンタビリティの向上です。「ポリオが最も流行している地域は、基本的な医療や福祉の欠如に直面している地域でもある」とジャファリ氏。ジャファリ氏は、「ポリオプログラムが(単一の)予防接種というより、統合されたアプローチであるとみなされるよう、ほかの基本的な医療や福祉との連携を強化、統合する」ことが目標だと述べました。また、一部の地域では、予防接種キャンペーンの実施方法に問題があったり、ワクチン接種へのためらいがあることで、未だに子どもたちにワクチンを接種できないことがあります。ジャファリ氏は次のように述べます。「この新しい戦略は、新しいアプローチ、新しい戦略で地域社会を巻き込み、新しい協力関係を築くことを目的としています」世界ポリオデー特別プログラムでは、世界保健の専門家が、新戦略の一つとして、循環型ワクチン由来ポリオウイルスである [eVDPV2](#) に対処するための新型ワクチンの配布を拡大することを取り上げました。この [新型経口ポリオワクチン2型\(nOPV2\)](#) は、子供たちをポリオから守る一方で、遺伝的に安定しており、ウイルスが力を回復してワクチン由来ポリオを引き起こす可能性が低いものです。既にベナン、チャド、リベリア、ニジェール、ナイジェリア、コンゴ共和国、シエラレオネなど、アフリカの複数国で導入されています。この新型経口ポリオワクチンは、「最も困難な課題を克服するためのポリオプログラムの革新性を示す例」だとWHOポリオ担当ディレクターのシニアアドバイザーであるシモナ・ジプルスキー氏は述べています。「世界中のパートナー、科学者、リーダーたちによってnOPV2が開発されました。これこそ、ポリオを永久に葬るためのコラボレーションです」今年のプログラムでは、アフガニスタンとパキスタンのポリオワーカーの力強い映像が紹介されたほか、ロータリー会員が[日本を含む各地でのプロジェクトやイベントを紹介](#)し、ポリオ根絶活動への認識を高めました。